

2021年11月1日

幼保連携型認定こども園 **西神戸 YMCA 保育園 11月えんだより**

11月聖句： 「わたしの恵みは、あなたに十分である。」

<コリント信徒への手紙2 12章9節>

暑い日々が続いたかと思えば、急に秋が深まり、冬の訪れさえ感じます。心身ともに健康に気を付けて過ごしていきましょう。晴天が続くこの時期は、更に子ども達が園の外に出て遊ぶ機会が増えていきます。自然の色も色づくこの時期に、身体も五感も使った遊びをしっかりと取り入れたいと思います。

さて、もう30年も前の話ですが、神戸市の指定園であった当園に通園していた、重度の障害を持つ園児のお母さんが話された言葉を今でも忘れることはできません。「先生、明日の朝、この子が、お母さん！おはよう！と、笑って言ってくれる夢を時々みるのです。」その言葉の中に、お母さんが背負っておられる多くの思いを感じてしまい、返す言葉がありませんでした。卒園して、かなりの時間が過ぎた時、偶然にも街で再会しました。園児の事がきっかけでお知り合いになり、ご姉弟がご結婚する話を聴きました。「この子のお蔭で、本当に素晴らしいお相手やご家族に巡りあえて本当に幸せです。」と涙してお話しされたことを思い出します。

神様は「力は、弱さの中でこそ十分に発揮される」と言われます。私たちは自分の嫌なところや欠点だと思ふところがあります。例えば、もっと運動ができたなら恰好良かったのとか、もっと記憶がよければ違った人生であったのとか、もっと健康であれば素晴らしい毎日が過ごせたのと思うことがあります。しかし、神様は「わたしの恵みは、あなたに十分である」と言われます。あなたは、今のままで十分です。今のままで大丈夫だと言われていきます。神様はあえて人間に自分の好まない部分をつくり、世に生み出しました。それは、人間は弱い部分があることによって、傲り高ぶることを顧み、謙虚になることができるからです。又、弱い部分があるからこそ互いに助け合うことができ、他人の弱さにも寄り添うことができるのです。それこそが人間の真の強さであるということです。

神様の恵みは、十分に私たちに与えられています。ありのままの自分を誇りに思い、大切に思い、皆、弱さの中で生き、生かされていることを覚え、だからこそ共に力を発揮することができて強くなれるこの日々感謝します。

年主題 『共に喜んで』～ すべての歩みの中 ～

11月	乳児 (0,1,2歳児)	幼児 (3,4,5歳児)
月主題	ありがとう	ありがとう
月の願い	* 秋の実りを喜んで味わう。 * 保育者の祈る姿を通して、思いを感じる。	* 秋の実りを感謝し、あじわう。 * いろいろな人の働きを心にとめる。 * 気持ちや考えを伝えあい、分かち合いながら友だちとすごす。
讚美歌	おほしがひかる	あなたの平和の 聖歌集増補版1